

まえがき

本書は、平成10年10月5日と6日の両日、広島市中区の八丁堀シャンテにおいて「中国・四国地方の発展と地域戦略—この10年間の回顧と今後の展望」をテーマに開催した第11回研究集会の報告書です。前回の第10回研究集会と同様に、広島大学経済学部附属地域経済研究センター、地域経済研究推進協議会、地方シンクタンク協議会中国・四国ブロック、中国地域シンクタンク協議会の四者の共催により実施いたしました。また、当日は、広島県、広島市、中国経済連合会、広島商工会議所、広島経済同友会、中国新聞社に後援いただき、ここにお礼申し上げます。

この研究集会は、地域経済研究センターが平成元年に創設されて以来、毎年開催してきました。第11回を迎えた今回の研究集会は、例年通り2日間にわたって開催され、初日は基調講演とパネル討論会、2日目は、中国四国地域を代表する8つのシンクタンクの研究員の方々に、地域経済に関連した研究報告をしていただきました。

今回の研究集会は第11回ですが、ちょうど地域経済研究センターがスタートして10年目という節目の年次大会であるため、今回の研究集会の第1日目は、「地域経済研究センター10周年記念フォーラム」として、10年間のセンターの活動を振り返るとともに、中国・四国地域のここ10年間で戦後50年の中で位置づけ、さらに今後の地域経済の見通しと地域政策を議論いただく場を設けました。このフォーラムでは、中国・四国における各地域を代表する地域経済研究者であり、地域経済研究センターの活動で主導的な役割を果たしてこられた6名の先生方に登壇いただくことといたしました。四国地域からは、井原健雄先生と柏谷増男先生、中国地域からは、樺本功先生、北川泉先生、岡本輝代志先生、吉村弘先生に話題提供をお願いし、中でも樺本功先生には7年間センター長を務められた経験からセンターの設立を振り返られ、それ以降のことなど多く語っていただきました。

2日目の研究報告においては、前回の研究集会と同様に、共催団体である2つのシンクタンク協議会が中心になって研究報告者の調整を進めていただき、地域経済研究センターはそれぞれの研究報告に対する討論や座長の担当で協力することとしました。両シンクタンク協議会の御尽力により、今年度は8件という過去で最多の研究報告が行われ、地域シンクタンクと大学の研究者による地域経済研究のネットワークがますます充実しつつあるものと考えています。

最後になりましたが、地域の皆様方には、当日の研究集会に多数のご参加をいただき、おかげで大変有意義な成果をあげることができたことに対してお礼申し上げます。また、本書を作成するにあたり、1日目に御登壇いただいた先生方、2日目の研究報告会における報告者、座長、討論者の方々、そのほかセンター客員研究員の平尾元彦先生をはじめとするセンター関係スタッフにお世話になりました。皆様方のご協力に厚くお礼申し上げます。

平成11年3月

広島大学経済学部教授

地域経済研究センター長 戸田 常一